

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

作成日:2018年3月8日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部／国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: フロリダ立大学 現地言語: Florida State University
留学期間	2017年7月～2018年1月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年1月5日
明治大学卒業予定年	2020年4月

留学費用項目	現地通貨 (アメリカ \$)	円	備考
プログラム費用	\$4,559	506,206 円	授業料含
保険料	\$778	86,225 円	FSU 大学の保険・明治大学の海外保険
授業料	\$0	0 円	
宿舍費	\$2,116	234,961 円	
生活費	\$990	110,374 円	交際費・NY 観光含
食費	\$1,500	165,600 円	
渡航旅費	\$2,839	314,800 円	
その他	\$800	88,832 円	土産代含む
合計	\$13,582	1,506,998 円	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
大学の宿舎とディズニーのキャスト専用の寮
2)滞在費
Chatam Square 1週間 \$99 / The Commons 1週間 \$116
3)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 6)
4)設備について
<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂(浴槽) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他( )
5)住居を探した方法:
フロリダ州立大学では決まっています、ディズニーでは4つの中から1つを選択する。
6)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
私は最初、4つのコンプレックスのうちの Chatam square というところに3か月ほど滞在し、その後自分の意志で\$100払い、The commons というところに引っ越しをしました。個人的感想としては、停まるバスの数は少ないですが、引っ越した commons のほうが洗濯機も備わっており、きれいで近くに小さいコンビニがあり、便利でした。どちらも6人での共同生活でしたが、チャタムではベッドルームが2つしかなく、3人でバスルームもトイレも部屋も共有しなければならなかったのですが、commons のほうでは3つベッドルームがあり、2人で部屋、トイレお風呂を共有するため、広々と使えました。3人部屋だと普通のベッド1つと、2段ベッドであり、少し動くたびに揺れるため神経質の人には向いていないと思います。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)保険について。現地の医療保険に加入しましたか?
<input checked="" type="checkbox"/> した (大学の保険) <input type="checkbox"/> しなかった
3)留学前後での予防接種の必要の有無
<input checked="" type="checkbox"/> 有 (MMR) <input type="checkbox"/> 無
4)学内外で問題があったときは誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか?
学内外で問題はなかったので相談しませんでした。相談するところはあったと思います。
5)現地の治安はどうか? また現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか? 実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか?
治安は悪くありません。私は携帯やクレジットカードを無くしたことがありますが、どちらも返ってきましたし、パーク内で遊んでいて物を盗まれたこともありませんでした。
6)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか? (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮内ではWi-Fiが通っていたため、携帯やインターネットを使うことが出来ました。しかし、たまに回線が悪くつながらないことがあったので、急いでいるときなどは不便でした。パーク内ではゲスト用とキャスト用のWi-Fiどちらもあります。私の働いているところもパーク外ではありましたが、キャスト用のWi-Fiが通っており、休み時間などに利用していました。
7)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
日本と海外で使えるデビットカードとクレジットカードを事前に作っていたため、最初はその2つをメインに使っていました。ディズニーに移動してからは、ディズニー側からICP専用のデビットカードを支給していただいたのでそれを主に利用していました。
8)利便性、買い物はどうでしたか? また現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば入力してください。
買い物に行くには、バスに乗って1時間ほどのWalmartと言われる大きいお店か、歩いて15分ほどのpublixというお店があります。私は安くたくさん物を買いたかったので、いつもWalmartに行っていました。行きと帰りの時間が取られてしまうため、利便性は良くないと思います。私は日本食をたくさん日本から持って行っていますが、月に2回程ハウ

ジグで開かれるイベントに参加すると、Asian Market に連れて行ってもらえるのでそこで調達することができます。日本から持って行くべき物としては、ほんだしやショウガ、ニンニクのチューブお茶漬け等がおすすめです。

9)授業料の支払方法、支払時期等について入力してください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に留学先大学から指示があったので、事前に口座に支払いしました。

10)その他、生活等に関して参考となる事項を入力してください。

自分のものが盗まれてしまわないように、事前に持ち物に名前を書いていくことをお勧めします。私は特に自分の携帯の設定を海外で使えるようにしなかったため、旅行でNY行った際は駅でしか携帯を使うことが出来ず、不便でした(ディズニーの中と日常生活ではWi-Fiがあるので大丈夫です)。

### 渡航について

1)ビザについて。ビザの種類を入力してください。

ビザの種類(F-1・J-1 など): J-1

2)取得方法、提出書類、取得手続きにあたっての注意点等。

たくさん用意しなければならない書類がありました。また大使館に行かなければいけないので、予約が必要でした。

3)手続きに要した日数(提出書類の取得からビザ取得まで)

約 21 日

4)出国と帰国の日付を入力してください。(西暦で入力)

出国: 2017年7月29日  
帰国: 2018年1月5日

5)経路を入力してください。(例:成田→シカゴ→ニューヨーク→シカゴ→成田)

行き: 成田→アトランタ→タラハシー 帰り: オーランド→デトロイト→成田

6)現地での出迎え

有 (FSUからのバス) 無

7)到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容

FSUについての説明を受け、簡単なゲームをしました。

### 卒業後の進路について

1)留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。

留学前に将来の夢がなく、留学先で見つかることを祈って参加しましたが、留学中も特になりたい夢が見つからず、いまだ模索しています。今決まっていることとしては、留学で鍛えた英語を扱う仕事に就きたいと思っています。この先無事に大学を卒業したら、大学院等に進まず普通に就職し、働きたいと思っています。

2)留学前の単位取得や就職活動に対して工夫した点

留学するために単位はすごく気にしました。授業では積極的に発言し、良い成績をキープし、単位を落とさないよう努力しました。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めて入力して下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Intercultural Communication	異文化コミュニケーション

科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Jayme Harpring
授業内容	Culture とは、どのように外国人と接するか(Cross cultural communication)、日本人と外国人の文化の違い
試験・課題など	宿題と最終課題としてグループ発表がありました。
感想を自由に述べて下さい	先生がとても優しく、授業の内容もとても楽しかったです。10 日間の間に授業が詰まっており、1 日受けている時間が長かったため疲れました。大学と違い、同じ授業しか受けていなかったの少し飽きたことがありましたが、先生が色々なアクティビティを用意してくださっていたため、最後まで楽しんで、終わることが出来ました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Intercultural Communication Practicum	異文化コミュニケーション実習
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(4)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	インターンシップ
試験・課題など	特になし
感想を自由に述べて下さい	実際に様々な国から来た人と話すことによって、文化の違いを再発見し、また日本の文化についても考えさせられました。他国についてのお話を聞くのはとても楽しく、日本の文化について知ってもらうことも嬉しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Applied Intercultural Communication	応用異文化コミュニケーション
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input checked="" type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(3)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Robert Hughes
授業内容	ディズニーでの月1回の授業と週1回の宿題でした。授業では vista way に集まって、同じくFSUに少しの間通っていた韓国人・中国人・台湾人などと一緒にグループで話し合いました。アメリカといろんな国をいろんなテーマで比べました。労働環境の違いや direct communication, indirect communication, culture, collectivist culture など様々なことを学びました。
試験・課題など	週1回の宿題 主にディズニーで働いていることによって見つかるディズニーの良さについてレポートを書く。

感想を自由に述べて下さい	この授業はディズニー内で行われたため、個人的には一番大変な授業でした。日々働いて疲れている状態でも宿題は週 1 回のペースで出されるので、休むことができませんでした。少しでも気を抜いてしまうといつの間にか宿題が出ていて、見落としてしまったことがありました。
--------------	--

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語訳):
Corporate Social Responsibility	企業の社会的責任
科目設置学部・研究科	
履修期間	<input type="checkbox"/> Fall <input type="checkbox"/> Winter <input type="checkbox"/> Spring
現地での単位数	(4)単位
本学での単位認定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 手続き中 <input type="checkbox"/> 単位認定(本学で認定された単位数を入力して下さい)
授業形態	<input type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> その他
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	インターンシップ
試験・課題など	ディズニーに関するレポート
感想を自由に述べて下さい	FSU のサイトに載っているディズニーの取り組みについて読み、それについての良いところや、自分の考えを書きました。また、ディズニー内で働くことにより、社会に対しどのような取り組みをし、貢献しているかなど知ることが出来ました。

## 留学に関するタイムチャート

2016年 1月～3月	語学試験の勉強
4月～7月	語学試験の勉強
8月～9月	語学試験の勉強・TOEFL iBT 受験
10月～12月	出願・選考・面接
2017年 1月～3月	面接・結果
4月～7月	日本での定期試験・出発・FSU での授業・タラハシー→オーランド
8月～9月	ディズニーでの仕事開始
10月～12月	インターンシップ
2018年 1月～3月	帰国
4月～7月	学校
8月～9月	学校
10月～12月	学校

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	中学生の頃から海外に興味があり、留学することを考えていました。明治大学に受験すると決めた理由も、たくさんの留学先があり、英語の授業が多かったからです。今まで高校でボランティアとして訪れたスリランカ、修学旅行で行ったイギリス、大学に入ってから友達と訪れた香港・韓国と様々な国に旅行したことがあります。そんな私の考える留学する良さは、ただ言語を勉強するだけでなく、実際にその国の歴史や文化なども体験でき、色々な国の人と交流ができるところにあると思います。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	一番準備をしておけばよかったと後悔していることは、やはり言語の勉強でした。最初は日本人の発音する英語が聞き取りにくいのか、相手に伝わらなかったことがありました。また、反対に相手の話す速度が速く、知らない単語も多かったため、何を言いたいか全く理解できないこともありました。そういった経験も含めて、留学の良さなのですが、もっと勉強をしていたら同僚とのコミュニケーションの幅が広がっていたのではないかと思います。また、参加者は世界各国から集まるため、その人たちを知るきっかけとして他の言語の挨拶や、簡単な日常言語を知っておけばよかったなと思いました。もともと韓国語とフランス語の基礎のみは昔習っていたこともあり知っていて、その言葉で話すと相手の人が嬉しそうになっているのを見るたびに、もっといろんな言語を知ってたくさんの人と話したかったと思いました。自分も日本語で話しかけられたときはすごく嬉しかったので、私も他の人に実践したいと日々思っていました。
留学中に役立った書籍、ウェブサイト等	留学中は仕事で忙しく、宿題で出された課題以外、自分であまり勉強していませんでした。そのため、書籍やウェブサイトをあまり見ていませんでした。何回か開いたウェブサイトとしてはFSU大学の個人ホームページであるmyfsuというサイトにいつもログインし、宿題の確認・提出そして授業の時に使ったパワーポイント・成績の確認などをしていました。その他、休みの日にDuolingoというアプリを開き、色々な国の基本的な言語を習得しようと努力していました。
この留学先を選んだ理由	私は他の参加者と違い、熱狂的なディズニーのファンというわけではなく、もともとは他の留学先を希望していました。しかし、このプログラムはフロリダ州立大学で学ぶことができ、またホスピタリティで有名なディズニーで働くことができるため、第1志望に選びました。金銭面的にも他の留学先よりも安く、自分で稼いだお金で寮の代金を払うことができるため、魅力を感じました。将来に対して今のところ明確な計画は無いのですが、観光と言語に興味があるため、10日間ほど大学で勉強し、英語を扱って仕事ができる環境があるこのプログラムは、私にとって理想的な留学先でした。
大学・学生の雰囲気	私がこのプログラムが始まって最初に訪れたフロリダ州立大学(FSU)は、日本の大学と違いすごく広く、建物もたくさんありました。空き時間に探索した際には、教会のようなスタンドグラスがある資料館を見つけました。校内を走って運動している方やスターバックスでゆったりお茶している方を見て、みんなゆったり自分のしたいことができるいい大学だなと感じました。FSUでは最後の課題であるグループ発表の際、大学に通っている人と会話する機会がありました。私の班では学校生活をテーマに日本と比較しました。お話しして一番印象に残っていることはみなさんがフレンドリーでどんな質問をしてもわかりやすいように答えてくれたことです。
滞在先の雰囲気(寮・アパート・ホームステイ・シェアハウス)	FSUでは各自1つのベッドルームがあり、シャワーとトイレは2人で、キッチンとリビングは4人でシェアという形でした。部屋は1人で住むには十分な広さで、しっかり扉も閉めることができたため、パーソナルスペースが確保できます。ディズニーでの寮では最初は2つベッドルームがある、6人部屋でした。FSUでの生活とは違い、全て共有で、その上日本人だけでなく、アメリカ人も一緒に住むことになり、最初の頃はストレスがたくさんありました。しかし、時間が経つごとに相手との距離感を学び、いい意味でも悪い意味でもお互い遠慮がなくなりました。私は日本人がいないうちに住みたいという希望と、前の部屋で問題が生じたため、3か月後、引っ越しをしました。次の部屋では3つベッドルームがある6人部屋で、1つの部屋を2人で分けることで前よりも住みやすくなり、なおかつルームメイトとの交流もうまくいきました。
交友関係	一番初めにディズニーに着いた頃は、友達をたくさん作りたいと思ったため、色々なイベントにも参加し、様々な人と会話していましたが、途中で体調を崩してからは、そこで仲良くなった友達と遊ぶことが多く、あまり交友関係を広げようと考えなくなりました。私はどちらかというと日本人の友達と一緒に遊びに行くというよりは、いつも外国人の友達とパークに行っていました。中でもpool partyで仲良くなった友達とは、一緒にキャラクターのサインを集めに行ったり、仮装してハロウィンパーティーに遊びに行ったり、クリスマスパーティーに参加したりしました。他にも、同じ職場の中国やブラジル・アメリカ人の友達と休みの日に遊びに行ったりしました。

困ったこと、大変だったこと	困ったことはいくつかありました。1つは私が部屋を移動した理由なのですが、私自身の持ち物の紛失が何度かあり、精神的に疲れました。他に大変だったことは仕事でした。私の職場は他の人に比べると単純作業が多く、またゲストと関わる機会がないため、比較的自由でした。忙しいと時間が経つのが速いのですが、ズボンのチャックを確認したり、穴があるかをチェックしたりと、集中して単純な作業を長時間行うのは私にはとても厳しかったです。
学習内容・勉強について	主に2つの授業を受けました。1つ目はFSUでのJayme先生による授業。そして2つ目はRobert先生によるディズニー内での授業でした。どちらも異文化についての授業でした。最初は文化とはどういうものかを学んだ後、上司との距離・仕事に対する姿勢・地位の決め方等、日本とアメリカを比較しました。Robert先生は全体を約13グループに分け、授業の度に何かお題を出し、それに対してグループで討論させるスタイルでした。Jayme先生も同じように討論させる機会を設けていましたが、ある課題を出し、それに対してグループで考え、皆の前で発表するというスタイルでした。どちらも討論し、意見を交換し合うことが多く、講師が話し続ける授業と違い、自分の考えをしっかりと持ち、それを相手に理解してもらうことの難しさを学びました。
課題・試験について	FSUでは参加者が2つのグループに分けられ、それぞれ違う先生が担当していました。私の先生は優しく宿題も2日に1回のペースでしたが、もう1人の先生は厳しかったようで、毎日たくさんの課題を出していました。教科書の問題を解く・授業の内容に関するレポートを書くといった内容の課題でした。試験はFSUに通っている方に各自それぞれのテーマに関するインタビューをし、それをグループで発表するスタイルでした。ディズニーに着いた後受けたフロリダ州立大学の授業でも、パソコンを用いたグループ内での討論・授業に関する内容のレポートの提出を交互にしていました。
大学外の活動について	FSUでは授業以外の活動は特に無かったと思います。授業後にアクティビティとしてボーリングや学校探検、最後にパーティーがあるぐらいです。主な活動はディズニーでのインターンシップです。FSUでは10日間しか過ごしません、ディズニーでは4か月と少しを過ごすので、たくさん思い出ができます。仕事は週5日、毎日7時間ほどなので自由な時間が多く、それをどのように過ごすかはその人次第です。私は同い年の友達と一緒にいつもパークに遊びにいき、交流をしていました。
留学を志す人へ	留学したら語学のスキルが必ず伸びるわけではなく、ずっと楽しいわけでもありません。楽しいこともあるし、辛いことや悲しいこともたくさんあります。家族と離れ、すべて自分でこなさなければいけません。人によっては辛いことばかりで、何をやってもうまくいかない、そんなときがあるかもしれませんが、すべて自分の行動次第なのでなんでも挑戦し、失敗することをお勧めします。いつか結果がついてきます。初めは何もかもが新しく、戸惑うことが多いと思いますが、慣れてきたら楽しく感じることができるようになると思うので、それまで根気強く諦めないでください。

## 1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	仕事	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
	仕事	睡眠	課題	睡眠	睡眠	睡眠	仕事
午後	仕事	パークに行く	仕事	仕事	仕事	課題	仕事
	買い物	パークに行く	仕事	仕事	仕事	課題	仕事
夕刻	料理・課題	パークに行く	仕事	仕事	仕事	家事	買い物・家事
夜	睡眠	睡眠	仕事	仕事	仕事	睡眠	睡眠